

## 新型インフルエンザ対策の強化を求める意見書

新型インフルエンザはこれまで多くの患者が軽症で回復してきた一方で、東京都の5歳の男児が死亡するなど、子どもや妊婦、高齢者のほか、基礎疾患を有する方などを中心に重症患者が増加するなど、対策の強化が急がれています。

今後、秋から冬に向けて新型インフルエンザの大流行が強く懸念されるなか、ウイルスの性状変化による毒性の増大や薬剤耐性の獲得が生じた場合などに備えて、これまでの対策について不断の検証を行い、新たな対策を講じていく必要があります。

よって、国会および政府におかれては、新型インフルエンザ対策を強化するため、以下の施策の推進を図られることを強く求めます。

- 1．院内感染対策の徹底など、医療従事者や重症化の恐れのある基礎疾患を有する方などの感染防止対策を強化すること。
- 2．重症患者に対する適切な医療提供体制を確保すること。
- 3．感染拡大およびウイルスの性状変化を早期に探知するサーベイランス（調査・監視）を実施すること。
- 4．公的助成によるワクチンの接種体制を整備すること。
- 5．地方自治体、医療機関、一般国民に対して適宜・正確な情報を提供すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成21年10月16日

千代田区議会議長 桜井 ただし

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

副総理・国家戦略担当大臣

あて

厚生労働大臣

総務大臣

財務大臣

内閣官房長官